

学校経営の基本方針

・子供たちのためにできることを  
(チルドレンファースト・児童第一で)

- 「明るく・楽しく・元気よく学べる学校」  
子供たちの可能性を大いに生かせる学校  
づくりに努める

・チーム大森東小

(一人一人の持ち味を生かした組織力)

- 全教職員が団結し、信頼に基づいた学校づくりに努める
- 学校と保護者と地域の三者で同じ方向に向かって「響育」  
活動を推進する

これからの社会で活躍する児童像

- 豊かな心を持ち、地域とともに生きようとする児童
- 学ぶ喜びを持ち、それらを自分の生活で生かせる児童
- 自己肯定感が高く、社会貢献意欲のある児童
- 社会の変化に主体的に対応できる児童

目指す学校像

- 子供が学校に行きたいと感じる学校
- 「ありがとう・ごめんなさい」が素直に言い合える学校
- 失敗しても、チャレンジする意欲がわく学校
- 保護者が学校に行かせたいと感じる学校

教育目標

考える子ども（知）

自ら学び考えて行動や判断ができる

温かい子ども（徳）

自分や相手を尊重する

強い子ども（体）

心身共に、たくましく生きる

教育目標を達成するために

①授業を大切にす

児童にとって

- ・楽しいと感じる授業(前向きな姿勢で受けている授業)
- ・ためになると感じる授業(なるほどと理解が深まる授業)
- ・わかりやすいと感じる授業(わかったと感じる授業)
- ・次回が待ち遠しいと感じる授業(楽しみになる授業)
- ・受けてよかったと感じる授業(受けてプラスになる授業)

②豊かな人間性を育む心の教育

全教育活動で思いやりと規範意識の育成

- ・基本的な生活習慣を身につける指導を粘り強く行う  
(挨拶・返事・言葉遣い・マナー・所作作法等)
- ・「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言える子供
- ・自分を大切にするとともに、相手も大切な存在
- ・相手を認めて尊重する心を育てる

③体力の向上・食育の推進

- ・体力テストの実施・結果をもとに体育の授業の充実
- ・体育的行事への事前の取り組みを推進
- ・体育・健康教育授業地区公開講座の実施
- ・大田区小学生駅伝大会への取組
- ・健康な体を作るために安全な食生活への関心を高める  
がん教育の推進

④特色ある教育活動の推進

- ・小規模校ならではの特色ある活動を生かす
- ・異学年交流(縦割り班・活動の充実)
- ・集団での自分の役割を自覚させる
- ・認める・励ます、思いやる心を育てる  
(自己肯定感を高める指導)
- ・大東米栽培の活動から食育・協力・協働・感謝を体験
- ・地域の伝統産業である海苔について「海苔付け」体験

⑤人権教育・特別支援教育の充実

- ・自他を大切に思う心の教育。特別な教科道徳の充実
- ・異学年児童とのかかわりの中で上級学年は下級生を  
いたわり、下級学年は上級生を敬う態度の育成
- ・サポートルームの活用
- ・児童実態把握票やMIM-PMの活用(アセスメント)
- ・個別の教育支援計画・連携型個別指導計画の活用
- ・その子にあった支援と指導で子供の力を伸ばす

⑥開かれた学校 家庭・地域との連携

- ・保護者との連携で信頼関係を築く
- ・地域との連携により地域の教育力を活用する
- ・「地域あつての学校」という意識をもつ
- ・PTA活動、商店街や地域行事への積極的な参加
- ・学校支援地域本部との連携して、サマースクールの充実
- ・大森東小学校はいつでも毎日「学校公開」